

## バリューチェーンにおける主な取り組み

当社グループの事業活動が、バリューチェーン全体で社会や環境にどのような影響をもたらすか、SDGsの169のターゲットレベルまで落とし込み検討したうえで、対応すべき課題を明確にしています。正の影響の強化や負の影響の最小化、SDGsへの貢献に向け取り組んでいるステークホルダーごとの主な取り組みを紹介します。



重点テーマ

お客さま

お取引さま

従業員

地域社会

地球環境

正の影響の強化

負の影響の最小化



- 「働き方改革」の推進
- 事業に資する人材の育成

■ お客さまのニーズに合った製品の企画・開発・提供

事業展開

100  
カ国以上



- 新たな価値、ソリューションの創出



- 品質の確保
- ユニバーサルデザインへの対応
- 新技術を活用した製品の開発

研究開発拠点

12カ国 21拠点

研究開発費

195億円(連結)

開発スタッフ

国内 約 1,000 名



海外 約 400 名

企画

開発

調達

生産

販売

保守

- 製品ライフサイクルの企画



- お取引さまとともにサステナブル調達の推進
- サプライチェーンにおける人権の尊重

自主点検チェックリスト回答率

100 % (グローリー株式会社)

100 % (グローリープロダクツ株式会社)

100 % (Glory Global Solutions (Singapore)Pte. Ltd.)

100 % (GLORY IPO Asia Ltd.)

100 % (GLORY (PHILIPPINES), INC.)

100 % (光榮電子工業(蘇州)有限公司)



- グリーン調達の推進
- 生物多様性の保全

調達した部品や資材によるCO<sub>2</sub>排出量

Scope 3・カテゴリ 1

278,893 t-CO<sub>2</sub>

(前年度比 4.4%増)



8

拠点(国内)

生産

- 省資源化、リサイクル、リユースに配慮した生産と物流

廃棄物排出量

2,197 t (国内、海外)

ゼロエミッション達成サイト数

8 拠点(国内)

- 製品の使用、輸送、廃棄時の環境負荷低減
- 製品の使用によるCO<sub>2</sub>排出量

Scope 3・カテゴリ 11

187,902 t-CO<sub>2</sub> (前年度比 23.5%増)

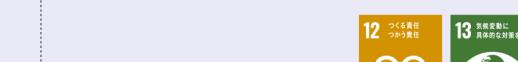
輸送・配送によるCO<sub>2</sub>排出量

Scope 3・カテゴリ 4

11,953 t-CO<sub>2</sub> (前年度比 36.1%増)

使用済み製品の回収 (広域認定制度利用)

約 168 t (グローリー株式会社、北海道グローリー株式会社)



工場周辺の安全

販売

販売

- エコカー導入

- ノンフロンガス型の清掃用品(リサイクルジェット)の販売

リサイクルジェット充填本数

38,996 本

製品の廃棄によるCO<sub>2</sub>排出量

Scope 3・カテゴリ 12

1,976 t-CO<sub>2</sub> (前年度比 36.1%増)



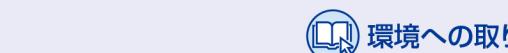
- 人権や労働安全衛生への配慮
- ワークライフバランスの推進

年間総労働時間(正社員一人当たり)

2,032 (時間／年)

休業災害度数率

0.53



エネルギーの使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量

Scope 1 Scope 2

18,590 t-CO<sub>2</sub> (前年度比 22.3%増)

